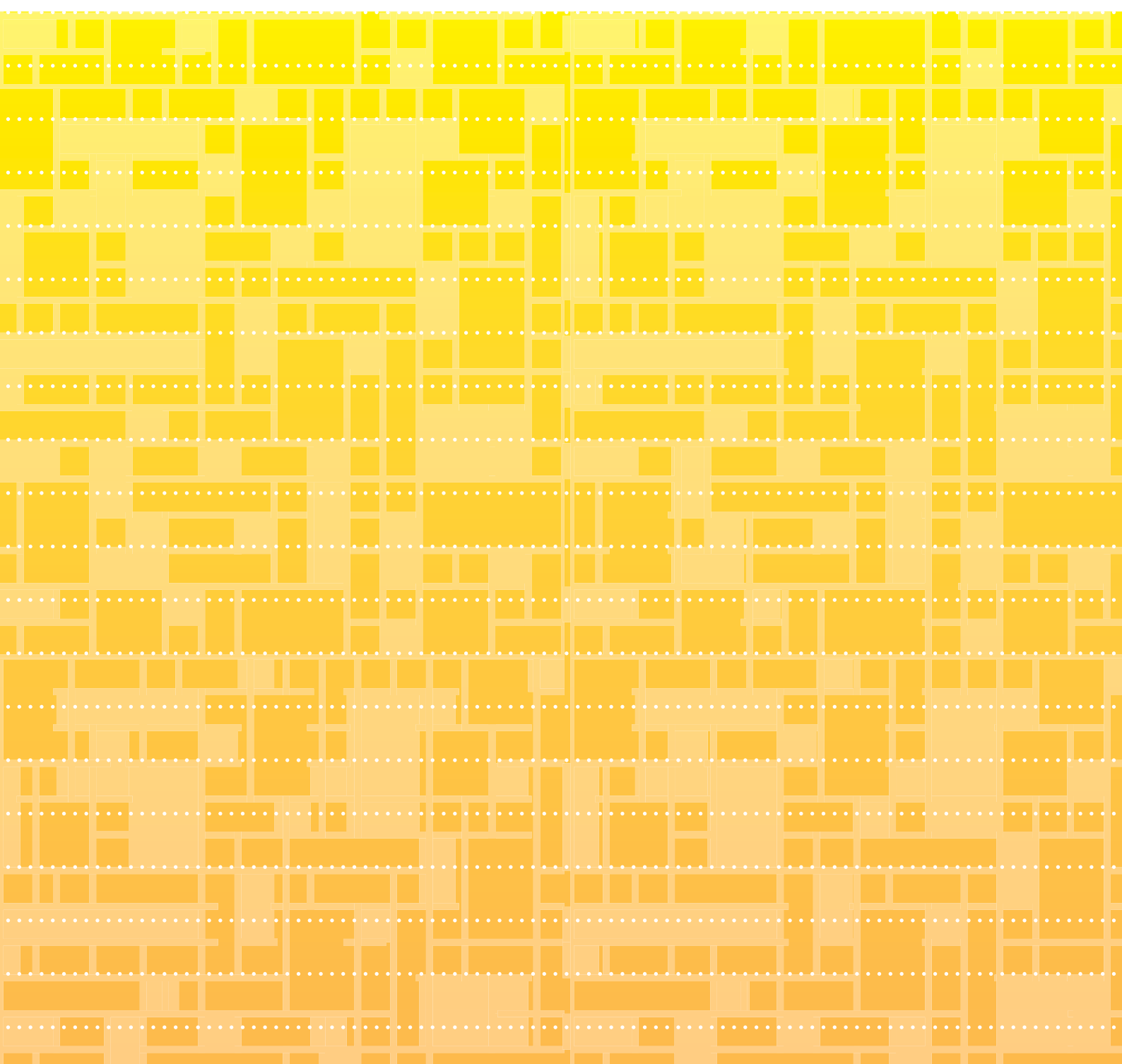


fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター  
Fukui Industrial Support Center

# 活用事例集

2015



頑張る企業の皆さんの意欲的な取り組みを支援します。

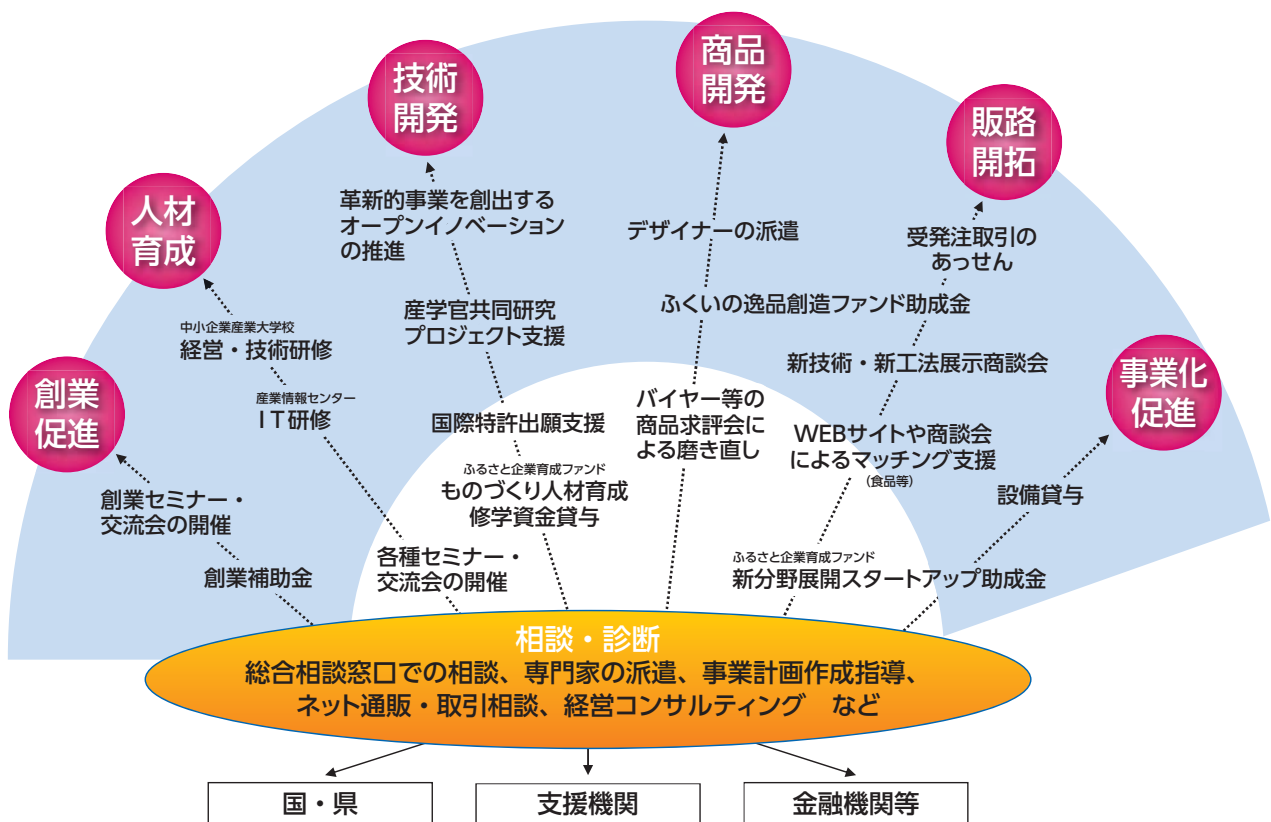
## ふくい産業支援センターのご紹介

- 本県の中核的支援機関として、他の支援機関等と連携しながら、企業の経営課題に対応した支援を行います。

商工会議所・商工会、中小企業団体中央会ほか、県工業技術センターや金融機関、業界団体などと連携しながら事業を行っています。

- 地域、業種、会員等の区別なく、県内で事業を営まれる中小企業の方ならどなたでもご利用いただけます。
- 県内外の専門家や職員が有する技術、デザイン、IT等の専門機能を活用して、創業の促進、人材育成、技術開発、新商品開発、販路開拓などを総合的にサポートします。

### 主な支援事業の全体像



# 目次 contents

事例1	有限会社ウチダプラスチック	経営革新計画承認支援	1
事例2	有限会社谷口屋	企業診断・コンサルティング	2
事例3	株式会社千鳥苑	新分野展開スタートアップ支援	3
事例4	株式会社越前田村屋	新分野展開スタートアップ支援	4
事例5	株式会社リホーム	新分野展開スタートアップ支援	4
事例6	株式会社ジャクエツ環境事業	ふくいの逸品創造ファンド	5
事例7	株式会社加藤八	ふくいの逸品創造ファンド	5
事例8	株式会社ヤマサ製麺	ふくいの逸品創造ファンド	6
事例9	株式会社サンユウ	ふくいの逸品創造ファンド	6
事例10	株式会社トライアド	ふくいの逸品創造ファンド	6
事例11	山田英夫商店	デザイナー派遣（デザイン支援）	7
事例12	ふくい「陶」ネットワーク	グループカウンセリング（デザイン支援）	8
事例13	株式会社イワシタ	次世代技術国際発信支援	9
事例14	株式会社福井洋傘	中小企業等外国出願支援	10
事例15	若狭すっぽん養殖場	ふくいフード販路開拓支援	11
事例16	株式会社PROPO（プロポ）	産業情報センター入居施設	12
事例17	ケアン	産業情報センター入居施設	12
事例18	アイテック株式会社	オーダーメイド研修	13
事例19	北陸トラック運送株式会社	中小企業産業大学校施設	14

## 事業の紹介

◆ 経営革新承認支援	15	◆ 企業診断・コンサルティング	15
◆ ふるさと企業育成ファンド（新分野展開スタートアップ支援）	16	◆ ふくいの逸品創造ファンド	16
◆ デザイナー派遣（デザイン支援）	17	◆ グループカウンセリング（デザイン支援）	17
◆ 次世代技術国際発信支援	18	◆ 中小企業等外国出願支援	18
◆ ふくいフード販路開拓支援	19	◆ 産業情報センター入居施設	19
◆ オーダーメイド研修	20	◆ 中小企業産業大学校施設	20

## 先端素材および自社の技術を活用した医療関連分野への進出

### 有限会社ウチダプラスチック

代表者名 内田 栄時  
所在地 鯖江市  
業 種 プラスチック製品製造業  
事業内容 射出成形によるプラスチック製の盆、椀、箸、病院食器等の製造

#### 事業を活用した経緯等

同社は昭和34年に創業し、鯖江の漆器産地において、いち早くプラスチック製の漆器風業務用食器を開発した企業である。また、同社はエンジニアリングプラスチックなど高強度樹脂の加工を得意にしており、環境ホルモンがでないことや、落としても割れないなどの特徴が好まれ、近年は、売上高、利益共に伸ばしている。

しかし、国内の食器市場の規模は年々縮小していることから、新たな市場開拓の一環として、医療関連分野の参入を決めた。同社の3Dデータ処理技術や高強度樹脂成形のノウハウと先端素材である炭素繊維熱可塑樹脂を活用し、軽くて丈夫、更に患者の体型や皮膚の色に応じた骨折用の添木やリュウマチ骨格変形症向けなどの医療固定具を開発するという経営革新計画の策定に取り組むことにした。



医療用固定具の試作品

#### 活用内容

同社は、平成26年度に県から経営革新計画の承認を受けた。同計画の承認申請に向けて、当センターは開発品の特徴や販路などを確認しながら事業計画の整理方法や申請書作成における留意点等の助言を行うなど、経営革新計画の策定をサポートした。

現在、同社は計画に基づき、新たな事業に積極的に取り組んでおり、人の皮膚の色を再現した医療固定具の試作品製造まで実現している。

今後は、更なる改良を加えながら、商品化に向けて計画を進めていく予定である。

#### ◆利用された企業からの声



#### 代表取締役 内田 栄時 氏

経営革新計画を策定する際に、専門的なアドバイスを受けたことで、今後の事業展開を具体的に整理することができました。

先代から受け継いだ企業をさらに次の代に継続させるため、チャレンジしないことが最大のリスクと考え、創業の精神に立ち返り、伝統を大切にしながらも、新分野に挑戦することで更なる発展を目指していきます。

## 後継者&若手リーダー養成のためのアクションラーニング

### 有限会社谷口屋

代表者名 谷口 誠  
所在地 坂井市丸岡町  
業 種 食料品製造業  
事業内容 油揚げ・豆腐・スイーツの製造販売、油揚げ専門レストラン運営

#### 事業を活用した経緯等

テレビ番組等でも注目を集め、直営レストランへの来店客が急増。観光バスの立ち寄りやネット通販の売上も伸びて生産能力が不足、新工場の稼動も進めている。当社が掲げる次なる大きなビジョンの実現に向けて、事業展開を加速する段階にきている。

目の前の課題を克服しつつ事業展開を進めるために、計画を掲げて、それに向って全社員が動くPDCAサイクルを社内に確立したい。そのためには、それを担う、後継者たる四代目を中心とする若手リーダーを一刻も早く育成しなければならないと考え、「企業診断・コンサルティング」を活用して、眼前の課題解決と教育を同時並行で進めることとした。

#### 活用内容

まず、四代目の谷口弘晃氏以下リーダー6名のチームを結成、当センターの中小企業診断士が講師役となって「問題解決思考」「リーダーシップ」など、リーダーに必要な基礎知識のレクチャーを実施。続いて、学んだ考え方や手法を用いながら、自社の課題をリストアップして分析し、解決の優先順位を決定。優先課題についての解決策を抽出し、解決のための行動計画に落とし込んだ。

行動計画の進捗をデータ等で確認しながら結果を測定し、アクションの見直しを行うというPDCAサイクルを実践した。一つのテーマが軌道に乗ると別の行動計画の作成を進めるという形で経験を積み、各リーダーが自部署でPDCAサイクルを回せるようになった。



#### ◆利用された企業からの声



工場長（四代目“竹蔵”候補） 谷口 弘晃 氏

当社はこれまで、社長や専務の思いつきや問題が起こってからの対策として改善を行ってまいりました。今回のアクションプランを実行したことで各責任者の意識が向上し、問題を未然に防ぎ、自分たちが主体となって改善点を探す癖ができました。さらに現在は、各責任者が部署ごとにアクションプランを実行しており、各部署で自分たちの部署を良くしていくのだ！という責任感が生まれてきました。



## ドライブイン千鳥苑が提供する ご当地海鮮パンの商品開発支援

### 株式会社千鳥苑

**代表者名** 橋本 富夫  
**所在地** 美浜町  
**業種** 食堂・レストラン・ホテル  
**事業内容** 既存の観光・宅配ルートを活用した  
 パン製造・販売

#### 事業を活用した経緯等

国道27号線の旧道にドライブインを出店している同社。観光バスの減少や、舞鶴若狭自動車道の開通により更なる顧客の流出が懸念されていた。

ドライブインに対する市場ニーズは「食事処」から「間食、テイクアウト（保存）」へ変化している流れの中、顧客待受けのドライブイン事業からテイクアウト商品提供への新事業展開の必要性があった。

独自性確保のため自社工場内での生地からの本格的な製造を行う、パン製造・販売事業へ展開。新事業に取り組むにあたり、設備導入のために「スタートアップ支援助成金」を利用した。



#### 活用内容

本格的パン製造機器と冷蔵庫などの関連周辺機器を導入。パン生地の攪拌から焼き上げまでを自社内で実施可能とした。また、商品販売に当たり対面式ショーケースを新設。顧客がパン製造職人の生の声を聞き買い物ができるといことで好評を得ている。

商品開発に先駆け、綿密なる市場調査をし、「珍しい」「他所には無いもの」として「ご当地感」が必須と判断。高価でも購買意欲を伴う商品として、当店の立地条件を活かし「海鮮」路線での開発を進め、魅力ある食材による調理パン、「焼きさばバーガー」と「ジャンボエビフライバーガー」を完成させた。

この他、広報活動にも力を入れ、屋外広告とテレビコマーシャルを実施。反響を呼び、週末や祝日には完売が出るほどとなっている。

#### ◆利用された企業からの声



代表取締役 橋本 富夫 氏

苦戦していたドライブイン事業の打開のため、この事業に着手して良かったと思っています。当支援事業により、綿密に市場調査を行えたことが成功につながっていると感じます。おかげさまで、バスの乗客はもとより、地元の方にも好評を得ており、更なる改良により、息の長い商品の提供を続けていきたいと思っています。

## 「日本海越前・若狭の海の恵みを 存分に味わえる海鮮惣菜」 県内外に福井県の食をアピール

### 株式会社越前田村屋

代表者名 田村 玲子  
所在地 福井市  
業種 各種食品小売業  
事業内容 県内外の旅行者・出張客向け県内産海産物の販売

#### 事業を活用した経緯等

「高価でも美味しく、簡単に食べられる商品がほしい」という顧客の求める食を「かたち」にしたいと考え、海鮮惣菜を開発。県内漁港から直送される新鮮食材を使い、県内人気料亭・民宿等の秘伝レシピ・調理ノウハウをデジタル化したレシピに落とし込んで、「本物の味を追求した独自商品」をお客様へ提供したいと考えた。

#### 活用内容

「新分野展開スタートアップ支援助成金」を活用し、仕込みから調理法まで、職人の味を忠実に再現した海鮮惣菜を開発。量産地設備の整備を行い、県内外への販路開拓を目指した。将来に向けて、米穀、野菜も県産食材を活用し、顧客のニーズに柔軟に対応した商品開発、「越前田村屋」ブランディングの構築、食べやすい魚惣菜の提供を通じて魚介市場の活性化を図る予定。



## 他社既製品の販売から オリジナルデザインの企画・開発・ 販売への展開を支援

### 株式会社リホーム

代表者名 天谷 成作  
所在地 福井市  
業種 製造業  
事業内容 カーテン・壁紙・家具等のインテリア用品の企画、製造、取付工事

#### 事業を活用した経緯等

カーテン、ブラインド、ロールスクリーン、ウォールステッカー、壁紙等インテリア商品をインターネットで全国のお客様に販売している。

DIYリフォームのニーズが高まりつつあるが、需要が多様化し、類似商品が多数ある中、他社との差別化を図るために、オリジナルデザインの商品を企画開発したいと考えていた。

#### 活用内容

「新分野展開スタートアップ支援助成金」の採択を受けて、壁紙などの大型プリントが出来る印刷機などの設備を導入し、社内でデザインの企画開発を行っている。また、福井工業大学デザイン学科の生徒たちとタイアップし、これまでにないアイデアのデザインを企画開発している。

実際に開発した壁紙、ウォールステッカー等をプリントし、試作して好感触を得ており、本格的な販売に進みつつある。



## 福井の“地域資源”を活用した新商品開発・販路開拓助成金 「ふくいの逸品創造ファンド」助成商品をご紹介します

県内の中小企業のみなさんが、地場産業で培ってきた技術や、豊かな農林水産物、地域の特色ある観光資源等の「ふくいの強み」を活かした特長ある新商品・新サービスを開発し、販路開拓を図ろうとする取り組みに対して、市場調査・商品開発・販路開拓、広報などにかかる経費を助成します。ここでは5社の採択企業の商品をご紹介します。

メニューは以下の5つ

「恐竜ブランドビジネス化」「スポーツ・医療関連分野」

「新たな土産品開発による『おもてなし』」

「地域資源等を活用した新商品開発・販路開拓」「企業連携による産地競争力強化」

### 事例6

#### “恐竜王国福井”をPR 恐竜モチーフの屋外遊具「ディノワールド」

##### 特徴・機能

幼児の運動能力、体力低下が叫ばれる今日。全国の幼稚園、保育園等に向けた屋外遊具を設計するにあたり「恐竜のような体をつくろう」を合言葉に恐竜デザインと運動機能を融合させた遊具を開発し、“恐竜王国福井”を全国にPRしている。特に安全に関しては2012年キッズデザイン賞を受賞した独自の基準「JQ遊具安全規準」に則った設計で全国の園からも高い評価を得ている。

活用した地域資源 恐竜



##### 株式会社ジャクエツ環境事業

代表者名 徳本 達郎  
所在地 敦賀市  
業 種 製造、販売、設計業  
事業内容 屋外遊具の設計製造販売など

### 事例7

#### 累進レンズのテクノロジーを応用 オリジナルデザインのハイクオリティサングラス「QUAD」

##### 特徴・機能

プリズムオフセットレンズのテクノロジーにより、視界の中心部から周辺部分までの歪みやズレを軽減して、裸眼に近い広くクリアな視界を確保でき、視野の狭まりや眼精疲労から解放されるサングラスを開発。モニター調査を行ったマウンテンバイクの大会では参加者から、自然な見え方、広い視野など走行用のレンズに必要な全ての機能が高く評価された。

活用した地域資源 眼鏡



##### 株式会社加藤八

代表者名 加藤 弘紀  
所在地 鯖江市  
業 種 製造業  
事業内容 眼鏡、レンズの製造・卸



## 事例8

### おろしそば以外の福井らしさを 玄米や笹などを練り込んだ“体に優しいそば”を開発

#### 特徴・機能

そばに“からだにやさしいもの”を合わせることで、麺自体のおいしさとそばの健康への効果を、健康長寿ふくいと一緒にアピールしていきたい、という思いで開発された同商品。粗挽そば、若葉そば、玄米そば、笹そば、紅こうじそばの5種類をラインナップし、見た目(色)にまでこだわった。ネットショップや百貨店での販売のほか、郵便局のふるさと小包では全国1位に輝いた。

**活用した地域資源** 永平寺そば



#### 株式会社ヤマサ製麺

**代表者名** 山崎 妙子  
**所在地** 福井市  
**業種** 食品製造業  
**事業内容** そば、うどんの製造

## 事例9

### 伝統の越前漆器をモダンなインテリアに昇華 ミニ盆栽「ちょこぼん」

#### 特徴・機能

1500年の歴史を持つ伝統産業の越前漆器でつくられた盆栽鉢に、盆栽職人が手掛ける盆栽を組み合わせることで、高いクオリティのモダンな商品が誕生。軽量で耐久性・耐水性のある越前漆器を用いることで、手軽に室内に置き、忙しい日常に追われている方の、一服の心のオアシスとなる癒しのインテリアグッズとなっている。新たな分野への参画により、漆器の販売拡大はもちろん産地の活性化や後継者育成にもつながっている。

**活用した地域資源** 越前漆器



#### 株式会社サンユー

**代表者名** 五十嵐 一男  
**所在地** 鯖江市  
**業種** 漆器製造販売業  
**事業内容** 業務用漆器、茶道具等のデザイン企画、製造

## 事例10

### 「コウノトリ呼び戻す農法」ハグ米を活かした 幸せを運ぶギフト商品

#### 特徴・機能

「もらって嬉しい、贈って満足、安心・美味しい・自然にやさしい、幸せを運ぶ贈り物」をコンセプトに、コウノトリの卵をイメージした容器にお米を詰め、さらに全体はコウノトリの巣をイメージしたパッケージに入れた斬新なお米ギフト。使われているお米は「コウノトリ呼び戻す農法」ハグ米。コウノトリと人間が共存を目指す越前市白山地区の田んぼでやさしく生産されたこだわりのお米だ。

**活用した地域資源** 福井米（「コウノトリ呼び戻す農法」米）



#### 株式会社トライアド

**代表者名** 中村 善夫  
**所在地** 越前市  
**業種** 卸・小売業  
**事業内容** 出産準備用品のインターネット販売

# デザイナーとの二人三脚での挑戦 自社製包丁の販売促進に 向けたブランド開発

## 山田英夫商店

代表者名 山田 英夫  
所在地 越前市  
業種 卸業  
事業内容 越前打刃物の製造・卸

### 事業を活用した経緯等

同社は、打刃物製造の企画、管理、仕上をし、大手刃物問屋や小売店等へ卸している産地問屋。近年、刃物専門店、小売金物屋との取引が年々先細りしていく中、新たな販路を開拓して行く必要があった。

そこで、自社のノウハウを活かし、使い勝手が良く、かつデザインの優れた家庭用包丁市場を独自で開拓していきたいと考え、パッケージをはじめ、包丁以外の部分についてデザイン専門家の指導を受けるため、デザイナー派遣事業を利用することとなった。



### 活用内容

新しいデザインの家庭用包丁の製造にあたり、総合的なブランディングが必要であったため、デザイナーの亀田幸恵氏に指導を受けることとした。斬新なパッケージの色使いをはじめ、パッケージの内装、ブランドロゴ、パンフレット、名刺、Webサイトのデザインなどに協力をいただいた。2月に開催した「東京ギフトショー」の福井県ブースに出展し、多くのバイヤーと商談することができた。



### ◆利用された企業からの声



#### 専務 西本 信博 氏

当初、ブランド名やパッケージのデザインについて迷いがありましたが、こちらの要望を総合的にまとめていただき感謝しています。ギフトショーの際、多くの方に関心を持っていただき非常に手応えを感じています。商品が、たくさんの方の目にとまり、購入していただけるように、頑張って販売していきたいと思えます。

## 消費者と語り合える 越前焼商品の開発支援

### ふくい「陶」ネットワーク

代表者名 日向 光  
所在地 越前町  
業 種 窯業  
事業内容 越前焼の窯元

#### 事業を活用した経緯等

同ネットワークは、県内の越前焼の窯元等が集る団体。その中で越前陶芸村に拠点を構える若手陶芸家達が一昨年、越前陶芸村内にオープンしたギャラリー「木の上の鳥」を活用し、焼物の販売と活動紹介を行っている。年間を通じた地元の販売先は出来たが、それぞれの窯元のブランド構築がなされていないこともありギャラリーが効果的に機能していなかった。

そこで、グループカウンセリング事業を活用して、ライフスタイルコーディネーターの小野恵美子氏を専門家として招き、作家の意識改革とそれぞれのポジションの把握をするとともに、商品のブランド構築と改良について指導を受けることとなった。



#### 活用内容

カウンセリングでは、陶芸家同士が創作の経験や経営方法など本音で意見を交わせる時間を共有した。また、人に伝わる製品作りのために「作り手と使い手の双方が愛着を感じるモノ作り」をテーマにロングセラーを目指すことを誓った。

新しい取り組みとして、ギャラリー「木の上の鳥」での年間を通じた企画展や福井市内の会場を使った出前企画展を開催し、待つだけではなく陶芸家自身が使い手に歩み寄るような広報展開を仕掛け、それぞれの窯元のブランド構築を図った。

#### ◆利用された企業からの声



#### ふくい「陶」ネットワークメンバー 吉田 信介 氏

小野氏のカウンセリングの場で、個々の作り手の価値観や想いを話し合うことで、お互いの理解が深まり課題を見出し、ブランドとは何かを考えることが出来ました。また、顧客と交流し販売する場を協働して作り上げていく中で、皆で産地を盛り上げる意識が生まれました。非常に新鮮で、有意義でした。



# 海外展開への第一歩に 市場参入のための 海外展示会出展を支援

## 株式会社イワシタ

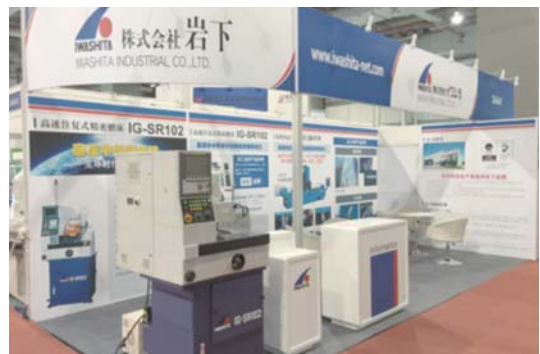
代表者名 岩下 春幸  
所在地 福井市  
業 種 製造業  
事業内容 金属加工機械の設計・製造

### 事業を活用した経緯等

同社は、長尺NC加工機、フライス盤、門形マシニングセンタ、精密研削盤および客先の要望に対応した特殊工作機械の設計・製造を積極的に行っている。

近年、海外（特にアジア地域）において半導体金型の生産性向上やコスト削減のニーズが高まっており、同社においても海外の半導体金型製作を行う企業に向けた精密研削盤等の販路拡大について検討を行ってきた結果、中国での大型展示会へ出展し、販路拡大を図ることとなった。

そこで今回、中国での最先端産業の集積地である東莞市で開催される機械装置等の展示会への出展を行い、中国や他アジア地域の企業へ向けた販路開拓を行うため、次世代技術国際発信支援事業を利用した。



### 活用内容

中国・東莞市で開催された「東莞国際金型・金属加工展」にて、半導体金型分野向けの精密研削盤および加工サンプルを展示し、中国やその他海外からの来場者に同社製品のPRを行った。

来場者の中には同社製品の導入を検討してくれる企業や、パートナーとして一緒に販売したいという企業もあり、今後も商談など継続して販売促進活動を進めていく予定である。

#### ◆利用された企業からの声



#### 常務取締役 岩下 大介 氏

当社では、海外のユーザー等に向けた効果的な販路開拓についても必要であると考えており、今回海外での販路開拓の足がかりとして中国での展示会出展を計画しました。

今回「次世代技術国際発信支援」を利用したことで、費用の軽減ができ、中国等アジア市場参入へのきっかけをつかむことができました。

今後も積極的に海外への販路開拓を進めていきたいと考えております。



# 外国出願に要する経費を補助 海外での事業展開をサポート

## 株式会社福井洋傘

代表者名 橋本 肇  
所在地 福井市  
業 種 製造業  
事業内容 傘製造販売

### 事業を活用した経緯等

雨に当たりながらも水滴を弾いてくれ、ひとりで乾いた状態を維持できる、強い撥水力が特徴の「ヌレンザ」。コーティングではなく、撥水する生地を用いるという逆転の発想をもとに、メーカーと共同で開発した高密度ポリエステル素材を使い製品化された。

このような高付加価値の傘を国内だけでなく、外国へも販売を拡大したいとの考えに至ったものの、外国で製品を販売するには、まず販売予定国ごとの商標取得が必須である。しかし、出願を予定している国は複数存在していたため、要する費用が多額になり、費用の負担が大きく厳しい出願であると考えていた。そのような時に、弁理士からの紹介で本補助事業の存在を知り、活用するに至った。

### 活用内容

当事業による支援で、商標出願に要する経費である商標出願費用や弁理士費用の補助を受けることができ、米国等合わせて4カ国へ出願することができた。この出願により、事業展開拡大のための外国での展示会等への出品や販売が可能になった。今後は市場調査や販売促進活動を積極的に行い、販売の拡大を行いたい考えだ。



### ◆利用された企業からの声



代表取締役社長 橋本 肇 氏

外国での展示会出展や販売促進活動を行うにあたって、製品の知的財産権取得は製品の信頼性を表すものであります。知的財産権を取得していない製品は外国では相手にされず、販路拡大に至りません。そのため、知的財産権取得というのは製品販売の土台部分です。その土台を固める支援として、本補助事業は相応しい事業でした。

# 人員不足を事業の活用で カバーブランド構築に向けて 販路開拓を支援

## 若狭すっぽん養殖場

**代表者名** 藤川 貴浩  
**所在地** 若狭町  
**業種** 内水面養殖業  
**事業内容** すっぽん養殖及びすっぽん加工食品の製造・卸売・小売

### 事業を活用した経緯等

同社は、若狭町内において、すっぽんの養殖およびすっぽんからとれる出汁やコラーゲンを活かした蕎麦、ジュレを製造・販売している。創業は平成20年で社歴は約7年と短いものの、地元の新たな特産品づくりを目指して販路開拓に取り組んでいる。

スタッフは代表の藤川氏だけであり、すっぽんの養殖から、加工、出荷、販売までをほぼ一人で行っている。このため、時間的制約などから小売店との商談など営業活動に取り組めないことが課題であった。

ふくいフード販路開拓支援事業では、県外の大手食品会社のバイヤー等と直接商談ができる機会が得られることから、同事業の利用を申し込んだ。

### 活用内容

まず、同事業の一環として運営されている食品マッチングWebサイト「バイヤーのための福食市」に自社商品を登録し全国への情報発信を行った。

さらに、当センターが大手食品専門商社と連携して開催した商談会や展示会に平成26年度は3回参加し、県外の食品バイヤーと商談を行った。

また、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に先立ち、北陸三県の支援センターが合同開催した金沢市内での商談会にも参加し、通信販売業者等多くの首都圏のバイヤーと商談を行った。



商品（すっぽん鍋セット）



展示商談会での営業活動

### ◆利用された企業からの声



#### 代表取締役 藤川 貴浩 氏

スタッフが一人なので、なかなか営業に時間を割くことができません。商談会は、面談することが難しい県外大手商社のバイヤー等と効果的・効率的に商談できるので、とても助かっています。実際に商談が成立し商品を出荷している例もあります。

当社の若狭すっぽんが、特産品として高いブランド力を得られるよう今後も販路開拓に努めたいと思います。

# 産業情報センターに入居し、 県内中小企業のウェブ活用を支援する業務で活躍中

## 事例16 株式会社PROPO

代表者名 中尾 豊  
所在地 坂井市  
業 種 情報サービス業  
事業内容 販売促進サイトに関連したウェブコンサルティング事業



### 事業を活用した経緯等

ウェブコンサルタント事業を本格的に展開するにあたり、かねてよりIT研修やセミナーなどで利用していた当センターのインキュベートルームに入居した。

### 活用内容

中小企業の販売促進を支援するためのコンサルティングを中心に事業展開を行うかたわら、県内外で講演・セミナー講師として活動している。

また、平成26年5月には初の著書「GoogleAdwordsで集客・売り上げをアップする方法」をソーテック社から刊行。Amazonベストセラーランキングのコンピュータ・IT部門で最高1位となるなど好評を得る。平成27年6月には2冊目の著書となる「成約率が上がる儲かる検索キーワードの見つけ方講座」を同じくソーテック社から刊行する予定。



## 事例17

### ケアン

代表者名 渡利 祥太  
所在地 坂井市  
業 種 情報サービス業  
事業内容 ネットショップを中心としたウェブサイト制作



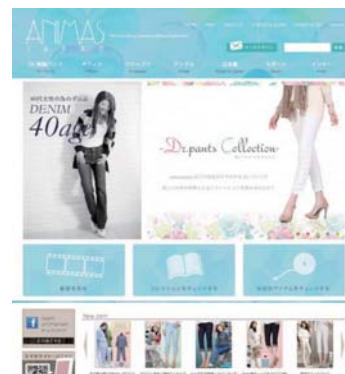
### 事業を活用した経緯等

大阪のアパレルショップの店長やサイト運営担当を経験、その後ホームページ制作会社勤務を経て、平成26年2月に鯖江市に帰郷・独立すると同時に当センターのインキュベートルームに入居した。

### 活用内容

実店舗での業務経験をもとに、楽天やYahoo!Shoppingなどモール型ECサイトからASPを利用した自社型ショップまで幅広く対応できるほか、Wordpressを活用した企業ポータルサイトの制作も手がけている。

男性ターゲットの力強いデザインから女性ターゲットの優しいデザインまで、クライアントの要望に応じて柔軟に対応できるデザイン力を持っており、他のインキュベートルーム入居者から制作を依頼されることも多い。





## 企業ごとの課題に合わせた研修で 効率的な社員教育を実現

### アイテック株式会社

代表者名 黒田 優  
所在地 鯖江市  
業 種 眼鏡製造業  
事業内容 表面処理業、眼鏡フレームの企画・販売

#### 事業を活用した経緯等

同社は眼鏡枠の表面処理を中心に事業を展開しており、現場では、グループ単位で生産管理に関わる活動を実施している。受注は比較的安定していたが、景気の先行きが不透明な昨今、現場改善でコストダウンを図り、厳しい経営環境下でも利益を生み出す体質づくりが重要課題であった。しかし、改善意識は決して高いとは言えず、意識の度合いも各グループ間、組織の上下間でバラツキがあった。そこで、現場改善やコストダウンに関する基本知識の習得と、意識向上を図るため、オーダーメイド研修を活用することとなった。



#### 活用内容

同社、講師、当センター間で情報を共有し、同社が抱えている課題やニーズに沿った研修を企画した。研修では、Q（品質）・C（価格）・D（納期）を視点にコストダウンに必要な考え方を理解し、実習キットを使ったグループ演習にて短時間で生産性が向上することを体感してもらった。また、研修後には、講師の所感、研修の状況や受講者の理解度、アンケート結果などをまとめた報告とともに、今後の人材育成の進め方に関してアドバイスした。

#### 《受講者の声》

- 問題点発見の方法と改善の優先順位の考え方が役に立った。早速パレート図を活用し、最も大きい不良事項を改善していきたい。
- 技術開発の部署に在籍しており、現場改善についてあまり意識したことはなかったが、ムダ削減が工程改善に大きく影響することを改めて実感した。

#### ◆利用された企業からの声

経営管理本部 若林 恭輔 氏

今回の研修を受講した社員は中堅クラスで職種も様々でしたが、受講者それぞれの部署において、今後の活動に大いに役立つと思われる内容でした。受講後は各部署の問題点や課題、今後進めていくべき活動などが見えたようで、全社的に改善活動を積極的に進めるきっかけになればと思います。講師・内容共に好評であったため、受講者を替えて引き続きこの研修を実施する予定です。



## 研修に専念できる環境を提供 新入社員の人材育成に有効活用

### 北陸トラック運送株式会社

代表者名 水島 正芳

所在地 福井市

業種 運送業

事業内容 一般貨物自動車運送業・倉庫業

### 事業を活用した経緯等

同社では「良い会社創り」の柱として人材育成を掲げており、特に新人のプロドライバー育成には、積極的に取り組んでいる。

入社後、即戦力を期待している運送業界にあって、新入社員に対する5日間の長期カリキュラムを設定し、同社の目標である「日本一大きな声での明るい挨拶」を実現するための声出し訓練を中心に、社訓、行動規範、実地での車両整備、リフト研修等を含む初任運転者に対する指導を実施している。

そして、この教育プログラムに欠かせない新人同士のコミュニケーションの場として、宿泊型の研修施設を提供している中小企業産業大学校を活用することとなった。



### 活用内容

10年以上前から継続的に、毎月5名前後の新人ドライバーに対し会議室と宿泊のツインルームを利用した研修を実施。会議室は主に、補足の授業と意見交換の場として活用している。

さらに同じ目的で施設に宿泊して研修を受ける事により、新人の各部門間におけるコミュニケーションと仲間意識が醸成された。

環境が静かであるほか、すぐに使用できるように、机、椅子等も準備しており、清掃もいきとどいていること。また、休憩場所、食堂、お風呂と設備が充実していることから、安心して宿泊研修ができると利用企業からの声もある。

#### ◆利用された企業からの声



代表取締役 水島 正芳 氏

新人ドライバーの育成は、ドライバー不足が問題となっている運送業にとって企業を継続するうえで重要な課題です。

この問題を克服するためにも、宿泊型研修施設を提供している中小企業産業大学校を有効に活用させていただくことは、大変重要な事だと考えております。

# 事例企業が活用した事業のご紹介

本誌で紹介している企業が活用した事業について、概要を紹介します。  
事業の詳細については、当センターのHPでご確認いただくか、  
各担当部署にお気軽にお問い合わせください。

## 経営革新承認支援

福井県の経営革新計画の承認のために、計画書の作成支援を行っています。

### 経営革新とは？ ※「中小企業新事業活動促進法」より

経営環境の変化に対応し将来にわたって企業を発展・成長させていくため、「事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ること」です。

#### 新事業活動とは？

4つの新たな取り組みのことをいいます。

- ① 新商品の開発または生産
- ② 新役務の開発または提供
- ③ 商品の新たな生産または販売の方式の導入
- ④ 役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動

#### 経営の相当程度の向上とは？

次の2つの指標が計画期間である3～5年で一定以上向上することをいいます。

計画終了時	「付加価値額」または「1人あたりの付加価値額」の伸び率	「経常利益」の伸び率
3年計画の場合	9%以上	3%以上
4年計画の場合	12%以上	4%以上
5年計画の場合	15%以上	5%以上

経営革新の承認を受けると、計画期間中、次のような支援策を受けることができます。

- 信用保証の特例 ①普通保証等の別枠設定 ②新事業開拓保証の限度額引き上げ
- 特許関係料金減免制度 ● 県の制度融資や政府系金融機関による低利融資制度 ● その他

## 企業診断・コンサルティング

従業員意識調査等による「簡易診断」、全社的な現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行う「企業診断」、課題克服や改善策の実行をサポートする「コンサルティング」を行います。

### 企業診断

- ◆ 現状分析 外部・内部環境分析、SWOT分析
- ◆ 課題の整理・抽出 事業・組織・財務・教育など
- ◆ 戦略案の策定・課題解決策の提案

### コンサルティング

- ◆ マーケティングや生産性向上などの課題解決をサポート
- ◆ 人事制度・教育制度づくりやリーダー育成プログラムの実践など、組織づくりをサポート

### ！活用ポイント

- 個々の状況に応じた、多岐にわたるオーダーメイドの支援を受けることができます。
- 問題解決に向けて、継続的なフォローを受けることが可能です。

※企業診断には、応分の自己負担をお願いしています。

ご相談に応じてお見積りいたします。

### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 総合相談・コンサルグループ  
TEL 0776-67-7424 FAX 0776-67-7429

## ふるさと企業育成ファンド

平成23年度に、ふるさと産業の元気再生を図ることを目的として、県内金融機関と県が協力して「ふるさと企業育成ファンド」を創設しました。その運用益により、県内中小企業の新分野展開を支援する「新分野展開スタートアップ支援事業」と、県内企業への技術系人材の就職を促進する「ものづくり人材育成修学資金貸与事業」の2つの事業を実施しています。

本事業は、平成23年から10年間継続して実施する事業です。

### 新分野展開スタートアップ支援（助成金）

**募集期間** 毎年4月下旬～5月

**対象** 福井県内に主たる事業所を持ち1年以上の事業実績があり、過去3年間の平均または前事業年度の売上額が年間10億円未満の中小企業者・個人事業者・事業協同組合

**対象事業** 既存事業の経営資源を活用した経営の多角化や事業転換を行う取組み

#### 助成率および助成額

新商品開発、施設・設備、販路開拓にかかる費用

◆ 助成率 2/3以内

◆ 助成額 100万円～1000万円

#### 助成金の応募から採択までの流れ

①事業実施計画書の作成（助成対象事業者）

②審査・採択（支援センター）

④助成金交付（支援センター）

③事業の実施（助成対象事業者）

## ふくいの逸品創造ファンド

県内の企業等が取り組む地域資源を活用した商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。

#### 対象者

福井県内に主たる事業所がある中小企業・個人事業者・農業協同組合・LLP等

#### 助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用

#### 助成事業の採択までの流れ

①・③…助成対象事業者  
②・④…支援センター

①事業実施計画書の作成

当センター職員が、事業計画の磨き直しをお手伝いし、実現性の高い計画づくりを進めます。

②審査・採択

※事業実施計画の内容を審査し、助成対象事業を決定します。

③事業の実施

※決定前に支出済みの経費は、助成対象になりませんのでご注意ください。

④助成金交付

事業実施後、助成金を交付します。また、定期的なアフターフォローを行います。

#### ！活用ポイント

- 県外に売っていただける商品開発を目指す企業のための助成金です。
- 事業実施期間は原則12ヶ月以内ですが、特に必要性が認められる場合には24ヶ月以内で設定することができます。（繊維連携は最長12ヶ月以内）
- 職員が事業計画の磨き直しを支援いたします。

#### メニューは次の5つです

- ・ 恐竜ブランドビジネス化支援
- ・ スポーツ・医療関連分野展開による新事業創出支援
- ・ 新たな土産品開発による『おもてなし』支援
- ・ 地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援
- ・ 「企業連携」による産地競争力強化モデル

#### 募集期間

- 5月中旬～6月下旬：9月事業開始分（予定）
- 10月上旬～11月中旬：1月事業開始分（予定）

### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 相合相談・コンサルグループ

TEL 0776-67-7400 FAX 0776-67-7429

## デザイン支援

売れる商品開発や販売促進、店舗設計など、マーケティングの重要な要素としてのデザイン支援について、経験豊富なデザイナーが実践的指導、助言を行います。

### デザイン専門職員による適切な事業マッチング

デザインを活用して経営の向上を図りたい



① デザイナー派遣

デザインを生かした取り組みを目指したい



② グループカウンセリング

県内のデザイナーの情報が知りたい



デザイナーバンク

県内の登録デザイナーの情報がご覧になれます。

福井国体を契機として販路開拓・新商品開発したい



③ 福井国体商品企画トータルサポート

デザイナー等を派遣し企画のブラッシュアップやマーケティング手法など総合的に支援します。

開発商品のデザイン評価を得て新規販路開拓を行いたい



④ ふくいプロダクト販路開拓支援

マーケッターやデザインディレクターがデザイン評価を行うとともに、開発商品に見合った販路の指導が受けられます。

#### ① デザイナー派遣

商品開発のデザイン、販売促進のデザイン、展示会の企画デザインなど、様々な分野で活躍するデザイナーをニーズに合わせて派遣します。

**対象** デザインを活かした経営の向上を目指す県内中小企業等

**費用** 具体的な指導を行う費用として、デザイナー謝金がかかります。

1回36,000円のうち18,000円が企業負担となります。

- ※一部、企業負担となる経費があります。
- ※負担金額等は変更になる場合があります。

**利用回数** 1企業あたり10回まで。(件数に制限があります。)

※ご利用できない場合があるので、事前にご確認ください。

#### ！活用ポイント

- 経験豊富なデザイナーの指導を受けて、自社では困難な商品企画やデザイン開発などの課題が克服できます。  
※新商品開発の際には、商品企画の段階からのご活用をお勧めします。
- 少額の費用負担で専門的なアドバイスが受けられます。

#### ② グループカウンセリング

団体、企業グループを単位として、県外の第一線で活躍するデザイナーから、最新の市場動向やヒット商品動向などの情報を聞いたり、共通するデザイン面での課題についてアドバイスを得たりする事ができます。

**対象** デザインを活かした取り組みを目指す県内組合・団体、企業グループ（中小企業を含む3社以上）等

**費用** 無料 ※デザイナー謝金、旅費の全額を当センターが負担します。  
ただし、企業の方の旅費およびその他の実費は自己負担となります。

**利用回数** 1グループあたり2回以内（県外デザイナーの指導が前提です。）

#### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター デザイン振興部  
TEL 0776-55-1756 FAX 0776-55-1759



## 次世代技術国際発信支援

国際感覚を有する技術者育成と世界への本県技術の発信・PRのため、県内中小企業が国外における学会・展示会等へ若手技術者を派遣する際の経費を助成します。

### 次世代技術国際発信費用助成の概要

#### 対象企業

原則として福井県内に事業所または工場を有し、中小企業基本法に規定する中小企業者であって、大企業が実質的に経営に参加していないまたは中小企業者の団体であって法人格を有すること。

#### 対象要件

国外の国際学会や展示会等へ技術者を派遣する目的が、自社製品の販路開拓や自社技術の高度化を図るなど、本県産業の振興発展に寄与するものであること。

派遣する若手技術者は、原則として45歳以下の技術者・研究者であることが条件となります。

#### 助成対象経費

国外の学会や展示会等への派遣に要する費用  
(旅費、出展費用等)を対象とします。

#### 助成対象期間

平成27年4月27日(月)  
～平成28年3月31日(木)まで  
(対象期間内に事業完了するものに限ります。)

#### 助成率

補助対象経費のうち、1/2以内を補助します。(1申請当り上限は、30万円)

**平成27年8月31日(月)が  
募集締切となります。**

## 中小企業等外国出願支援

業績を伸ばしている中小企業が、国外市場への進出や販路拡大を行いさらに飛躍するためには、保有技術の特許出願し権利化することや意匠・商標でブランド化を図ることは重要です。そこで、国外での特許権等の取得を促進するために、出願費用を助成します。

### 特許等出願費用助成の概要

#### 対象企業

福井県内に本社を置く中小企業

#### 助成対象経費

外国への特許、実用新案、意匠、商標および冒認対策商標に関する以下の出願経費。外国特許庁への出願手続が完了することが条件となります。

#### 採択件数

10件程度

#### 助成率および助成額

助成対象経費のうち、1/2以内を助成します。  
(上限は、特許150万円、実用新案・意匠・商標60万円、冒認対策商標30万円)

#### 助成対象経費に認められるもの

##### 外国特許庁への出願に要する経費

- ①外国特許庁への出願に要する経費
- ②外国特許庁に出願するための現地代理人に要する経費
- ③外国特許庁に出願するための国内代理人に要する経費
- ④外国特許庁に出願するための翻訳に要する費用

#### 助成対象経費に認められないもの

##### 日本国特許庁への出願に要する経費

- ①国内出願に要する経費
- ②PCT出願経費  
(国際出願手数料、国際調査手数料、送付手数料、優先権証明願、予備審査手数料、日本国特許庁への国内移行手数料等)
- ③国内出願・PCT出願の弁理士費用

### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部  
TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1554

## ふくいフード販路開拓支援

自社商品について県外への販路開拓をはかりたいというご相談に対して、WEBサイトや商談会などを通じて、全国の食品バイヤーとの取引マッチングをお手伝いします。

### 食品情報提供による販路開拓支援 食品WEBサイト「バイヤーのための福食市」

#### [1] 福井県内のこだわり食品情報を公開 (<http://buyer.fisc.jp>)

自社で開発したこだわり食品情報をWEB上で公開し、全国の食品バイヤーとの取引マッチングをサポートします。

各種商品ジャンルの検索にも対応し、事業者HPやFACEBOOKページにアクセスできるなど、手軽に多くの情報を提供できます。

#### [2] メルマガ配信による情報提供

全国の食品バイヤーを対象に、旬な商品、新商品情報など仕入れに役立つこだわり食品情報を定期、発行します。



### 取引マッチングによる販路開拓支援

#### [1] 県外大手食品専門商社とのマッチング事業の開催

大手食品専門商社との個別商談会（福井）や展示商談会（東京）を実施し、専門商社の流通ネットワークを活用した取引マッチングを支援します。

#### [2] 販売チャネル多様化の提供

- ・ 中小企業基盤整備機構と連携した商品プレゼン会への参加による販路拡大を支援します。
- ・ テレビ通販会社への番組企画による商品紹介、販売機会を提供します。

### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 販路開拓営業グループ  
TEL 0776-67-7407 FAX 0776-67-7419

## 産業情報センター入居施設

情報産業の育成と中小企業の情報化支援を目的とした施設です。イベントホールや会議室のほか、IT研修用のパソコン実習室、IT関係の創業間もない企業を対象としたインキュベートルームなどの貸出施設があり、企業の情報化の促進やITを使ったビジネス展開等にご利用いただけます。

### 入居施設（インキュベートルーム、共同研究室）

ITを活用した創業や新規事業に取り組む方に事務所スペースを提供します。

**特徴** 敷金不要・礼金不要・共益費不要・高速インターネット環境完備

**インキュベートルーム** 8室 ※ m<sup>2</sup>単価820円、坪単価2,706円

<タイプA> 7室 広さ27.13m<sup>2</sup> (8.22坪)

<タイプB> 1室 広さ26.60m<sup>2</sup> (8.06坪)

**共同研究室** 2室 ※ m<sup>2</sup>単価820円、坪単価2,706円

<タイプA> 1室 広さ36.47m<sup>2</sup> (11.05坪)

<タイプB> 1室 広さ59.74m<sup>2</sup> (18.10坪)



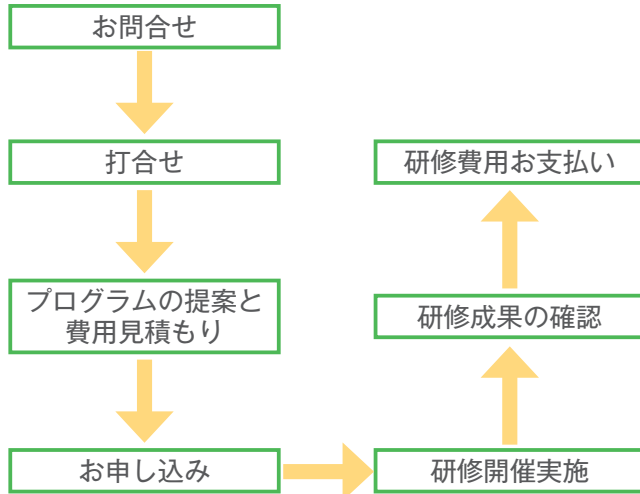
### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ  
TEL 0776-67-7416 FAX 0776-67-7439

## オーダーメイド研修

社員研修や組合員研修など、独自の教育計画を希望される企業、団体をサポートします。直面している課題やこれからの問題について、実施したい研修内容をお聞きしながら、研修テーマを設定し、予算やスケジュール等に応じたオーダーメイド型のプログラムをご提案します。

### ご利用の流れ



### サポートの実例

<b>営業基礎研修</b> ○1日 ○13名 ○建設工事業 ○営業部門社員	<b>改善・不良対策研修</b> ○1日 ○14名 ○製造業 ○生産部門のリーダー
<b>マネジメント研修</b> ○2日 ○20名 ○プラント保守業 ○管理職	<b>ビジネスマナー研修</b> ○1日 ○33名 ○観光業 ○全社員
<b>リーダーシップ研修</b> ○6日 ○20名 ○運送業 ○リーダー候補者	<b>繊維基礎研修</b> ○6日 ○100名 ○製造業 ○全社員

## 中小企業産業大学校施設

中小企業の人材育成を行うことを目的とした施設です。大学校主催の人材育成研修だけでなく、企業や団体が行う研修、社内会議・ミーティングの場としてもご利用いただけます。また、宿泊施設も併設していますので、長時間・長期研修の開催も可能です。

### 企業内研修・社内会議・宿泊研修の場をご提供します

#### 快適な環境でご利用いただけます

- 108名から少人数（2～6名）まで多種類の会場を用意
- 宿泊施設・体育館を併設、目的に応じた幅広い活用が可能
  - ・ 宿泊型の長時間研修が開催可能です
  - ・ 60名収容のお食事スペース完備。研修後の懇談会やレクリエーション会場への移動も不要です
  - ・ 宿泊室A（ツイン22室）と宿泊室B（シングル1室）はもとより、和室タイプの第2会議室のご利用と合わせて、最大51名までご宿泊いただけます
- ブロードバンド（光ファイバー）に対応
  - ・ 無線LANインターネット環境を整備
  - ・ 教室・宿泊室…最大100Mbpsの高速インターネットが無料で利用可能  
※無線LAN対応のコンピュータをご持参ください。
- 共用駐車場を含む最大430台分の無料駐車場を完備

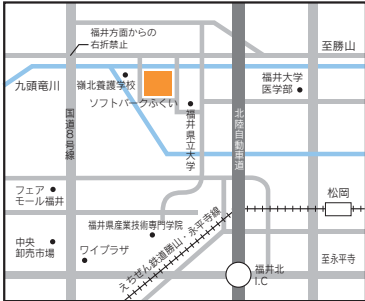
施設の空き状況確認からお申し込みまでの一連の手続きが、インターネットでできるようになりました。ぜひご利用ください。

【福井県中小企業産業大学校施設予約システム】 <http://fiib.jp/>



### お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 人材育成部（中小企業産業大学校）  
 TEL 0776-41-3775 FAX 0776-41-3729



## ふるさと産業支援部／販路開拓支援部／総務部

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 (ソフトパークふくい 福井県産業情報センタービル内)  
 TEL:0776-67-7400 (代表) FAX:0776-67-7429  
 E-mail:info@fisc.jp URL:http://www.fisc.jp/

### 交通アクセス

#### 【バス】 ■福井方面からお越しの方

- ・京福バス 大学病院線新田塚線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 10 番)
- ・京福バス 大学病院線中藤線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 11 番)
- ・京福バス 大学病院線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 11 番)

#### ■丸岡方面からお越しの方

- ・京福バス 丸岡永平寺線 (本丸岡バス乗り場 3 番)

#### ■松岡方面からお越しの方

- ・京福バス 丸岡永平寺線 (松岡駅バス乗り場)  
 ※いずれも「県立大学」下車 徒歩約 5 分 (所要時間 約 20 ～ 50 分)

#### 【乗用車】

- ・JR福井駅より約 30 分
- ・北陸自動車道「福井北.I.C」より約 5 分
- ・北陸自動車道「丸岡.I.C」より約 20 分



## 人材育成部

〒918-8135 福井県福井市下六条町16-15 (福井県中小企業産業大学校内)  
 TEL:0776-41-3775 FAX:0776-41-3729  
 E-mail:manabi@fisc.jp

### 交通アクセス

#### 【バス】

- ・京福バス 羽水高校線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 9 番)
- ・京福バス 西大味線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 9 番)

※いずれも「県産業会館・厚生病院」下車 徒歩約 2 分

#### 【乗用車】

- ・JR福井駅より約 15 分
- ・北陸自動車道「福井.I.C」より約 20 分



## オープンイノベーション推進部／デザイン振興部

〒910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北福田10 (福井県工業技術センター内)

【オープンイノベーション推進部】

TEL:0776-55-1555 FAX:0776-55-1554 E-mail:fstr@fisc.jp

【デザイン振興部】

TEL:0776-55-1756 FAX:0776-55-1759 E-mail:dcf@fisc.jp

### 交通アクセス

#### 【電車】

- ・JR北陸本線 春江駅より徒歩約 25 分
- ・えちぜん鉄道 三国芦原線 鷺塚針原駅より徒歩約 15 分

#### 【バス】

- ・京福バス 運転者教育センター線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 10 番)

「つくしの団地」下車 徒歩約 3 分

#### 【乗用車】

- ・JR福井駅より約 20 分
- ・北陸自動車道「福井北.I.C」より約 25 分
- ・北陸自動車道「丸岡.I.C」より約 20 分

#### 【飛行機】

- ・小松空港から連絡バスでJR福井駅まで約 60 分

JR福井駅から路線バスをご利用ください。